

# 学生プランシート

団体名	法学研究科新月会
所属学校	金沢大学大学院

## 1 提案プランのタイトル・概要

タイトル	<b>金沢に新しい観光名所を創出したい ～子ども向けバスツアーを計画するので色々教えてください～</b>
プランの概要	<p>観光客が増加したと言われているものの、金沢には未だ活用されていない「観光資源」がたくさん残っているのではないかと思います。例えば、これまで観光とは無縁だと考えられていた、農業林業漁業・伝統工芸・隠された絶景スポットです。</p> <p>今回、金沢大学大学院法学研究科新月会は、金沢の子ども向けに金沢の魅力を体験できるバスツアーを開催します。「観光資源」の整備を行い、子どもたちに楽しんでもらえる旅行プランを作りたいと思っています。</p> <p>観光資源はいわば「観光名所の原石」です。 金沢がより一層活性化するように頑張ります！</p>

## 2 プランを思いついたきっかけ・背景

### 【プランを思いついたきっかけ】

新型コロナウイルス感染症の蔓延をきっかけに、金沢大学では「オンライン」で講義を受講できるようになりました。ソーシャルディスタンス（社会的距離）を取りながら、在宅で勉学に取り組みました。

コロナウイルスの影響が収束し、私たちの生活が少しずつ元に戻ってきましたが、卒業・大学院修了が近づいてきました。「せっかく金沢大学に進学したのだから」と、これまで自粛していた友人との旅行を再開させたのですが、気に入った観光地がGoogle検索でヒットしないことに気がつきました。美味しかったあの金沢グルメもインターネットでは一切紹介されていません。実は、隠れた観光資源の一つだったのです。

このような経験を通じ、見過ごされている金沢の魅力は数多くあるのではないかと気がつきました。知られざる金沢の観光資源をバスツアーという体系化した形で提供すれば必ずニーズがあると思ったのです。これがプランを思いついたきっかけです。

### 【背景】

金沢大学大学院法学研究科新月会は、法律を勉強するメンバーで構成されています。

たまたま旅行業法を参照していたところ、地域の知られざる魅力を掘り起こし、いわゆる「着地型旅行」を促進することを目的に、地域限定旅行業という制度が創設されたことを知りました。さらに調査をすると、地域限定旅行業が「地方創生の担い手」となることを期待して、地域の体験型ツアーなどが企画しやすくなるよう規制緩和（法改正）も行われていることも知りました。

財政的要件や管理者の資格が非常に優遇されていることが、プラン検討を加速させた背景にあります。

### 3 プランの目的・ねらい

#### 【プランの目的】

○金沢を「挑戦」の舞台にすること

私たちは熱意をもって企画開発を行います。

私たちの「挑戦」を多くの学生に見てもらい、チャレンジ精神溢れる金沢市にしたいと思います。

○金沢の地域社会をより一層活性化させること。

この事業には地域の皆様との連携が欠かせません。

地域の皆様にご指導いただきながら、地域の活性化に繋げる仕組みづくりを行いたいと思います。

○金沢ＫＩＤＳの皆様にも満足していただけるプランの作成

金沢ＫＩＤＳの皆様は、金沢で育ち、金沢の魅力を知り尽くしている方です。

金沢ＫＩＤＳの皆様にも満足していただけるよう念入りに「観光資源」の調査を行います。

※子どもにも分かりやすい表現を用意します。

#### 【ねらい】

○子どもたちのリターン

北陸新幹線の開業によって、東京は身近な存在となりました。

金沢ＫＩＤＳもいつかは首都圏に進学・就職するかもしれません。

しかし、友達との楽しい思い出があれば、金沢に戻って来てくれるかもしれません。

金沢の魅力を東京で広めてくれるかもしれません。

そのような可能性を少しでも高めたいと思います。

### 4 企業に協力してほしい内容

1. 旅行業法関連（旅行業等を営むために必要な資源を有している企業様）

○私どもと共同して企画開発をしていただけないでしょうか。

※まずは、1回、日帰りバスツアーを開催したいと思っております。

2. すべての企業様

○まずは、私どもが、金沢市の魅力を知らなければなりません。

金沢の隠れた名所、体験可能な文化を教えて下さい！

○バスツアーの目的地とさせていただける企業者を募集しております！

○金沢の魅力を知る金沢ＬＯＶＥＲをご紹介下さい。

### 5 プランのターゲット

1. 金沢市内の幼稚園児・保育園児・小学生（1年生～3年生）

○夏であれば海水浴や初心者向けの登山を企画し、冬はスキーを体験する機会を提供する。

○農業体験であれば植え付けや収穫、漁業体験であれば稚魚の放流や漁の機会を提供する。

2. 小学生（4年生～6年生）・中学生

○クルージング船に乗り、金沢の海に親しむ機会を提供する。

○ドローンを操縦し、金沢市街を上空から観察する機会を提供する。

○金沢の自然環境がどのように守られているのかを学習できるツアーを提供する。

例）ゴミ処理施設・水処理施設の見学（金沢市環境局・金沢市企業局）。

## 6 プランの実現化に向けて

必要な資源 (ヒト、モノ、 技術・ノウハウ)	<p>1. 旅行業法上の登録 今回のプランは、パッケージツアーの性質を有しています。 予め旅行計画を作成し、旅行者を募集するもの（募集型企画旅行）に該当し得るため、官公庁長官又は都道府県知事による旅行業者等の登録を受けておくことが望ましいといえます（旅行業法第2条及び第3条）。 ただし、金沢市及び隣接市町村で完結する旅行の企画のみを想定していることから、地域限定旅行業の登録のみで問題ありません。</p> <p>2. 人材 ○北陸の魅力を知り尽くした人物（企画段階） ○添乗員さん（バスツアーの実施段階） ○旅行業務取扱管理者 ※総合旅行業務取扱管理者試験、国内旅行業務取扱管理者試験又は地域限定旅行業務取扱管理者試験に合格した者</p> <p>3. モノ バスツアーで使用するバス</p>
実現に向けて 考えられる課題 (ハードル (障 害) やリスク) と 対処方法	<p><b>【ハードルとその対処方法】</b></p> <p>1. 旅行業法の登録及び旅行業務取扱管理者 現在、双方が欠けている状況です。 (対処方法) 当面の間、既存の旅行業者に開催をお願いすることによって対処します。 その後は、①旅行業の登録を受けること、②旅行業取扱管理者試験に合格することでハードルを乗り越える方針。</p> <p>2. 資金面（バスの手配資金） 参加者25名の日帰りバスツアーを開催するためには10万円が必要です。 参加者から参加費を集めることが最初に思いつく対処方法です。 しかし、なるべく参加費を少額とすることにより、より多くの幼児や児童に参加してもらえるようにしたいと思っています（乗り越えたいハードル）。 (対処方法) そこで、資金を提供していただける協賛企業の募集や、当会オリジナル商品の販売によって得られた収益を充当することにより対処します。</p> <p><b>【リスクとその対処方法】</b></p> <p>○ケガや事故発生の可能性 幼児や児童をバスツアーの参加者として想定しているため、ケガや事故の発生を防止するために細心の注意を払う必要があると考えます。 (対処方法)</p> <p>1. バスツアーの企画段階において 保育士、学校教職員、金沢大学人間社会学域学校教育学類の教授等あるいは類似したバスツアーに従事した経験を有する者等、有識者を企画段階で関与していただき、事故発生のリスク等を事前に評価していただく。</p>

	<p>2. バスや船舶などの乗り物について 貸切扱いとし、事業者側に参加者に即した事故防止措置のための指示を仰ぐ。 また、添乗員と協力し、参加者である幼児や児童に当該指示を遵守させる。</p> <p>3. 万が一に備えた保険契約の締結</p>
情報発信の方法	<p>○幼稚園・保育園・小学校・児童館等に張り紙の掲示やチラシ等の設置を依頼する。 ○地域の掲示板や回覧板の活用。 さほど多くの参加者を募集しないので、これで十分であると考えます。</p> <p>迅速・確実な情報伝達のために形式的なＷＥＢページは作成するものの、ＳＮＳの運用は考えていません。</p>
スケジュール、 今後の発展性	<p><b>【今後の発展性】</b> 上述した、金沢自然体験ツアーや金沢社会体験ツアーやは、環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律に基づく「体験の機会の場」の認定制度の対象となり得ます。 現在、認定を受けた「体験の機会の場」は全国に35か所存在するものの、金沢市を含む北陸地方には存在しないのが現状です。 協力していただける企業様が存在するのであれば、新たに設立する一般社団法人等として「自然体験活動等の体験の機会の場」の整理を行い、金沢市長に対して「体験の機会の場」の認定を申請するという発展の可能性があります。</p>

## 7 調査、ヒアリング結果

### ○資金調達の状況

1法人と2個人事業主から協賛の確約を得ることに成功しています。

3回程度のバスツアーを開催するために最低限必要となる資金は確保できている状況です。

もっとも、潤沢な資金があるとは到底言えないため、引き続き資金調達に取り組んで参りたいと考えています。